

■ 荏原環境プラント株式会社

荏原環境プラント株式会社のサステナビリティへの取り組み

1. はじめに

荏原環境プラント株式会社は、株式会社荏原製作所グループ（以下「荏原グループ」）の「環境プラント事業」を中心的に担う事業会社であり、主に固形廃棄物（生活ごみや産業廃棄物）の焼却施設の建設から施設運営まで、ライフサイクル全般に渡る事業活動を一貫体制で行っています。当社は、自社独自技術やノウハウを活用するとともに、中核事業であるごみ焼却施設の建設や施設運営を通じ、SDGsの達成に向けた活動を行っています。

2. 荏原グループの長期ビジョン

荏原グループは、2020年2月に長期ビジョンであるE-Vision2030を策定し、その中で、事業活動を通じSDGsをはじめとする社会課題の解決に事業を通じて持続的に貢献することにより、経済価値のみならず社会・環境価値を向上することにより企業価値を高めていくことを明確にしました。取り組むべき重要課題として5つのマテリアリティを掲げ、具体的数値目標として、2030年までに、1億トン相当の温室効果額を削減すること、世界で6億人に水を届けることなど、具体的な数値目標を設定しています。創業の精神である「熱と誠」のもと、「技術で、熱く、世界を支える」を合言葉に、社会課題に取り組んでいきます。

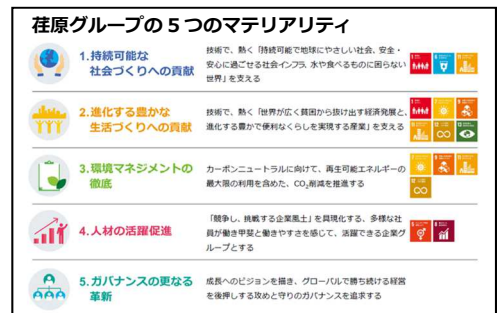


図1 取り組むべき重要課題

3. 荏原環境プラントのSDGsの取組み

このような中、当社においても、これまで培ってきた固形廃棄物処理に関する技術、施設運営ノウハウ、環境啓発活動、電力の地産地消ノウハウ、その他地域に根差した事業活動等を踏まえ、SDGsと事業活動の関係性を整理したうえで、当社としての事業方針を新たに策定しました。当社は、固形廃棄物処理を通じ、地域に根差し、かつ、長期に渡る事業活動を行うことにより、地域の衛生と安全安心な生活の確保、地域全体でのCO2排出量削減、地域循環経済の活性化、環境意識向上など、持続可能な地域社会づくりと、地域のSDGs達成に貢献します。また、自社が持つ既存技術を活用して、廃プラスチックをガス化し、化学原料等としてリサイクルするケミカルリサイクルを実現することにより、世界的な課題である気候変動による温暖化問題、廃プラスチック問題の解決に挑戦します。

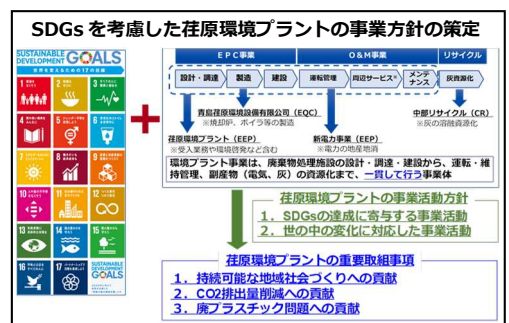


図3 持続可能な地域社会の形成